

# シャイン

## — 受講のきっかけと今 —

シャイン 034号

子育ての悩みがきっかけで  
今の相談業務に至る。  
まさに計画的偶発性！

### 藤原 智子さん

会社名：某市役所 所属：生活支援課 役職：就労支援相談員

資格：産業カウンセラー



#### 【受講のきっかけ】

結婚後、持病が発覚して通勤を続けることが出来ず、やむなく仕事を辞めて専業主婦になった私は、小学校高学年の時に激しい登校渋りと反抗期を始めた子どもについて、なんとかしたくて心理セラピーやコーチング、子育て講座等に通い始めました。その時にお世話になった子育て講座の先生が、「体系的に学びたいなら、大学以外では産業カウンセラー養成講座がお勧めです」と教えてくださり、養成講座のことを知りました。その後、無料体験講座に参加して、講師のお話や体験ワークが面白く、講座に申込みました。最初、在住市の教室を希望していたのが、定員が一杯だった為に仕方なく近隣市での教室受講となったのですが、これがこじんまりした教室でメンバーの結束力も大変強く、こちらの教室で受講出来てとても満足しました。

#### 【資格取得後の活動状況】

資格取得後、すぐに資格を活かした活動ができた訳ではないので、養成講座の教室メンバーで月に一度集まって、カウンセリング練習を続けてきました。

また、資格取得時は教育委員会で小学校の放課後学習会のコーディネーターをしており、担当の数校・70名程のスタッフのチームマネジメントをするうえで、養成講座で学んだ心理学の知識、傾聴の

スキルは大変役に立ったと思います。

そして、この春から電話相談員を、四月からは産業カウンセラーの資格を活かして市役所の生活支援課にて就労支援相談員をしております。相談業務の求人は経験の有無を問われることが多いようですが、これまでの職歴や子育て経験、子育てを通じた活動経験なども認めていただき未経験ながら採用されたのかと思います。実際は、福祉分野での仕事は他に必要な知識も多く、また様々な生活保護受給者への対応は、テキストで習った様々なことを正に生で体験している感があると同時に、それだけでは対応できないことも多々あり、常にトライアンドエラー、勉強の連続です。資格取得はスタート地点だったのだと痛感し、続けて相談員研修講座、キャリアコンサルタント養成講座も受講中です。

振り返ると、持病で当時のキャリアを諦めた時、また子育ての悩みがきっかけで心理学やカウンセリングを学び始めた時は、いつか相談業務に就こうなどとは思ってもいませんでした。指導者や仲間、機会に恵まれ、これまでの全ての経験もひっくるめて今の道を歩んでいるのが私のライフキャリアであり、講座で学んだ「計画的偶発性」なのだと感じ、これから先も研鑽していきたいと思っています。